

**博報堂 D Y ホールディングスとバイドゥ、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム**  
**バイドゥのビッグデータを活用して日本企業の日中越境 EC や現地ビジネスを支援**  
**-3 社共同による日中クロスボーダービジネス支援ソリューション開発-**  
**(博報堂 D Y ホールディングスとバイドゥ、戦略的パートナーシップを締結)**

株式会社博報堂 D Y ホールディングス（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂 D Y ホールディングス）の研究開発部門マーケティング・テクノロジー・センター※1（以下 MTC）は、このたびバイドゥ株式会社（東京都港区、代表取締役社長：張成煥、以下 バイドゥ）と博報堂 D Y グループのデジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 CEO：島田雅也、以下 DAC）と共同で、MTC のマーケティング・テクノロジーに関するソリューション開発力と、バイドゥの中華人民共和国（以下 中国）本社が保有するビッグデータ（Baidu Big Data）、DAC の中国デジタルマーケティングのノウハウを掛け合わせ、越境 EC ビジネス・中国現地でのビジネスに挑戦する日本企業・団体に向けて、日中クロスボーダービジネス支援ソリューション“HDY x Baidu Data Marketing Next”<sup>バイドゥ</sup>の提供を開始いたします。

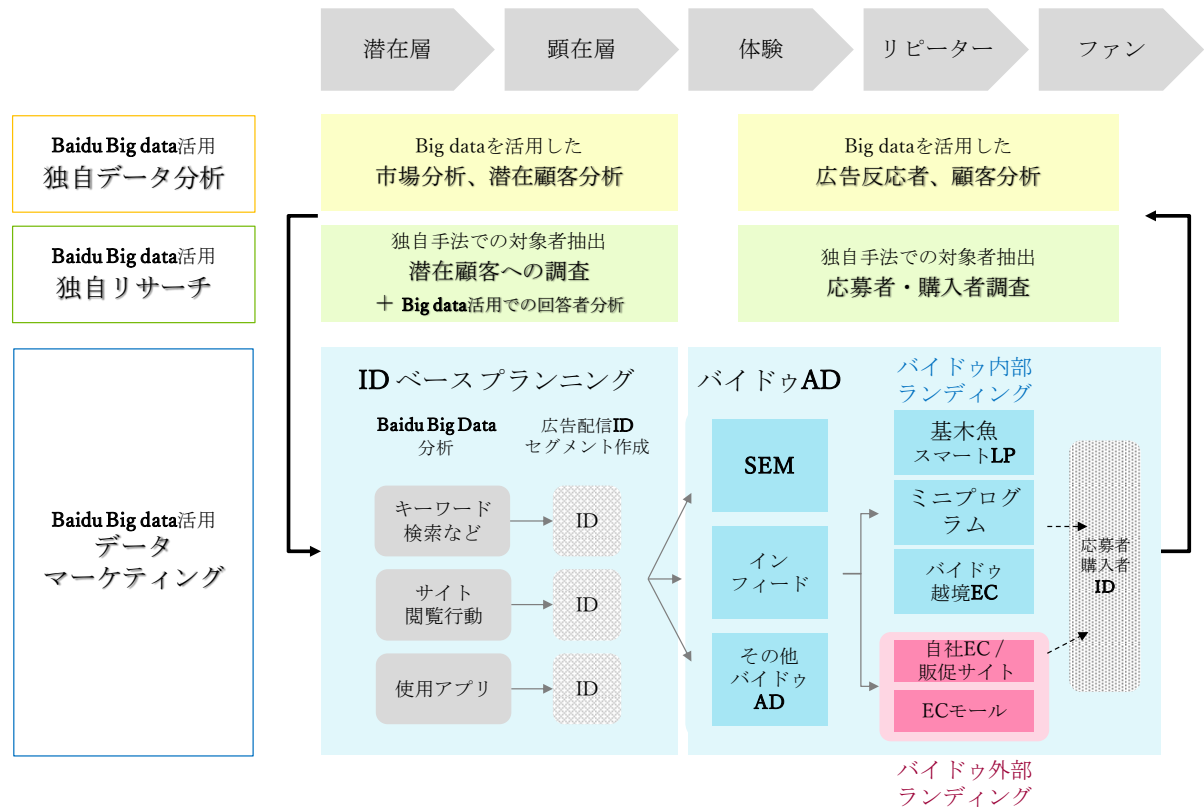
“HDY x Baidu Data Marketing Next”は、月間アクティブユーザー数が 6 億をも超える Baidu Big Data を活用し、Baidu 内・外の接点における潜在顧客への効率的なアプローチから体験設計ならびに体験後の絆づくりまでを、博報堂 D Y グループ独自のマーケティング手法により、一気通貫で支援するフルファネル型マーケティング対応のソリューションです。

**【HDY x Baidu Data Marketing Next 4 つの特徴】詳細後述**

1. 博報堂 D Y グループ日中一体でのクロスボーダーマーケティング支援体制
2. 日本で博報堂 D Y グループのみが利用できる「Baidu Omni Marketing」※2
3. Baidu Big Data を応用した博報堂 D Y グループ独自のデータ分析やリサーチ
4. バイドゥ内部ランディングページ作成ツール「<sup>ジームユー</sup>基本魚」を応用した顧客接点・体験開発

博報堂 D Y ホールディングスの MTC がバイドゥとの共同研究により開発を主導し、同グループのデジタルマーケティングを担う DAC、その子会社で中国北京に拠点を置く北京迪愛慈广告有限公司（以下 北京 DAC）が日中一体体制の運営を行うことで、他社にはない独自のデータ分析とリサーチによる精密な広告プランニングが可能になりました。そしてこれにより、日本対応のみでも中国対応のみでもなく、日中両国にまたがって、クライアントの越境 EC ビジネス・現地ビジネスの支援を可能にしたことが、当ソリューションの強みとなります。

## < HDY x Baidu Data Marketing Next で行う広告プランニング概要 >



開発の背景には、昨今の中国における大手プラットフォームでの EC※3、デリバリー、ペイメントなど多岐に渡るサービスの生活への深い浸透と、新興企業により次々に登場する新しいサービス、そして多種多様なサービスチャネルにおける EC 機能の標準化など、生活者の情報接点、買物接点の多様化、細分化があります。そのような環境下において、フルファネル型マーケティング発想でのプランニングが、ますます重要になってきています。

また、博報堂 D Y ホールディングス傘下の株式会社博報堂は、バイドゥと中国における新プランニングソリューション開発のために戦略的パートナーシップを 2018 年に締結し、開発を進めてまいりました。このたび、開発・提供体制を博報堂 D Y グループ会社へと広げ、さらに加速させるため、データマーケティング領域のプランニングソリューションを開発・提供する戦略的パートナーシップを博報堂 D Y ホールディングスとして締結したことをあわせてお知らせいたします。

博報堂 D Y ホールディングスの MTC、バイドゥ、DAC は今後も、越境 EC ビジネスや中国現地ビジネスに挑戦する日本企業・団体に向けたマーケティングソリューションの開発と提供を行い、価値創造型 DX（デジタルトランスフォーメーション）の支援を行ってまいります。

※1 博報堂 D Y グループのマーケティング・テクノロジーに関するソリューションナレッジの研究開発を担当する組織

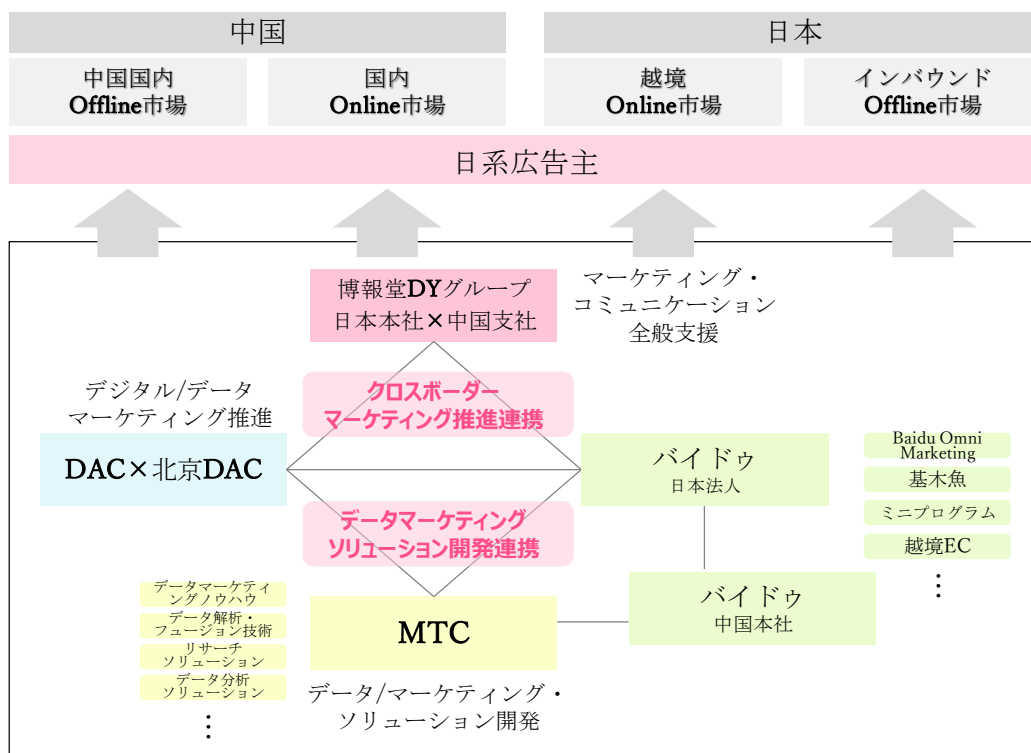
※2 Baidu Dig Data を活用した分析や広告配信プランニングができるデータマネジメントプラットフォーム（DMP）

※3 electronic commerce（電子商取引）

## ■HDY x Baidu Data Marketing Next の特徴

### 特徴 1：博報堂 D Y グループ 日中一体でのクロスボーダーマーケティング支援体制

博報堂 D Y グループ 日中一体で、日中クロスボーダービジネスに挑戦する日系広告主のマーケティングを支援する体制を構築しました。博報堂 D Y グループの中国拠点ネットワークに加え、過去 6 回「バイドゥ優秀代理店認定」を受賞したグループのデジタルマーケティングの中核を担う DAC と、中国でのデジタルマーケティング経験豊富な北京 DAC、そして、グループのデータマーケティング・ソリューション開発の中核を担う MTC が三位一体の連携を行います。



### 特徴 2：日本で博報堂 D Y グループのみが利用できる「Baidu Omni Marketing」

日本では博報堂 D Y グループのみが利用できる Baidu Omni Marketing のエージェンシーアカウントを用いて、市場・競合環境分析、潜在・顕在顧客分析、マーケティング戦略策定から、定めた戦略ターゲットへの ID ベースでの効率的なアプローチ（広告配信）、効果検証、そして、さらなる次の戦略提案までを支援いたします。

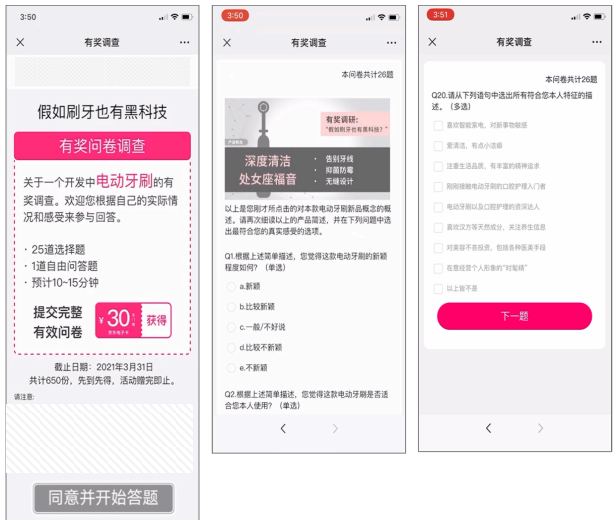


特徴3：Baidu Big Data を応用した博報堂D Yグループ独自のデータ分析やリサーチ

Baidu Big Data を応用した博報堂D Yグループ独自手法での対象者抽出と広告配信前後のリサーチ、データ分析で、マーケティング戦略策定や効果検証、体験設計を支援します。

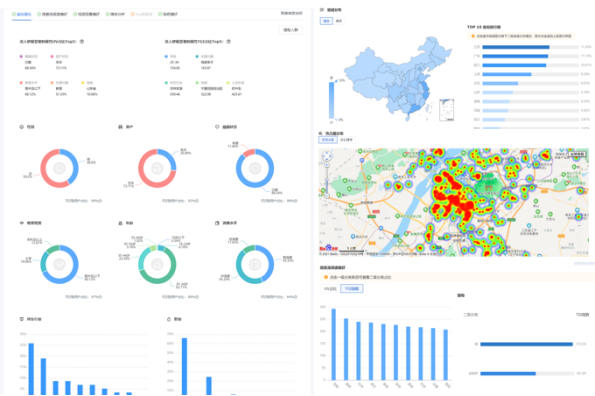
バイドゥ連携の調査画面

※サンプル画像



リサーチ回答者/広告反応者の人群分析

(性別、年齢、ライフステージ、検索ワードなど)

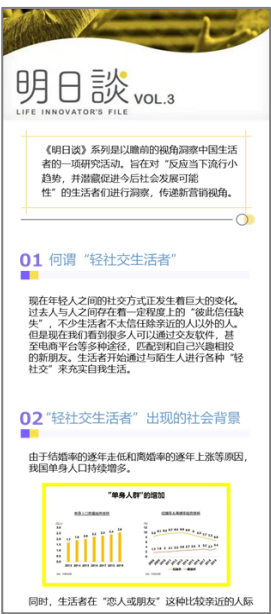


特徴4：バイドゥ内部ランディングページ作成ツール「基木魚」を応用した顧客接点・体験開発

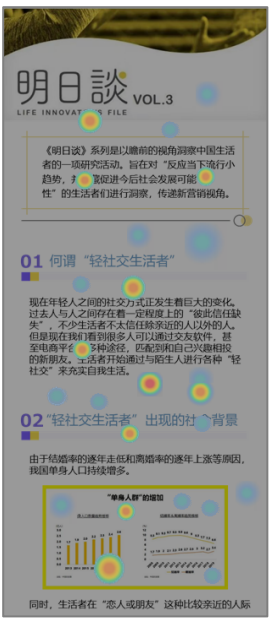
バイドゥ内部ランディングページ作成ツール「基木魚」を応用した顧客接点・体験開発を行います。「基木魚」をBaidu Data Marketing に組み合わせることで、バイドゥ内のスムーズな動線でのブランド体験を促進し、さらには基木魚コンテンツ反応者の分析を通じた動線・体験設計の改善までを支援します。

バイドゥ内部 基木魚ページ

※サンプル画像



ランディングページ来訪者のコンテンツ反応分析例  
(基木魚を活用したヒートマップ分析)



【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR 室 二荒 江渡

TEL:03-6441-9062 e-mail : koho.mail@hakuhodo.co.jp

デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社 戦略統括本部広報担当

e-mail : ir\_inf@dac.co.jp

バイドゥ株式会社 広報部

email: pr-jp@baidu.com